

全国海難防止強調運動実行委員会

(一社)日本船長協会
 (一社)日本旅客船協会
 日本内航海運組合総連合会
 全国漁業協同組合連合会
 (公財)日本海事広報協会
 (公財)日本セーリング連盟
 日本小型船舶検査機構
 (一財)日本海洋レジャー安全・振興協会
 (公社)日本水難救済会
 総務省
 国土交通省
 運輸安全委員会
 (公財)海上保安協会
 海上保安庁

(一社)日本船主協会
 (一財)日本気象協会
 (一社)大日本水産会
 全日本海員組合
 (一社)日本マリナー・ビーチ協会
 (公社)日本海洋少年団連盟
 船員災害防止協会
 (一社)日本マリン事業協会
 (一財)日本水路協会
 水産庁
 海難審判所
 気象庁
 (公社)日本海難防止協会

海上保安庁へのお問い合わせは、最寄りの官署へ

- | | | | |
|-------|--------|-------|-----------------|
| 第一管区 | 海上保安本部 | (小樽) | 電話 0134-27-0118 |
| 第二管区 | 海上保安本部 | (塩釜) | 電話 022-363-0111 |
| 第三管区 | 海上保安本部 | (横浜) | 電話 045-211-1118 |
| 第四管区 | 海上保安本部 | (名古屋) | 電話 052-661-1611 |
| 第五管区 | 海上保安本部 | (神戸) | 電話 078-391-6551 |
| 第六管区 | 海上保安本部 | (広島) | 電話 082-251-5111 |
| 第七管区 | 海上保安本部 | (北九州) | 電話 093-321-2931 |
| 第八管区 | 海上保安本部 | (舞鶴) | 電話 0773-76-4100 |
| 第九管区 | 海上保安本部 | (新潟) | 電話 025-285-0118 |
| 第十管区 | 海上保安本部 | (鹿児島) | 電話 099-250-9800 |
| 第十一管区 | 海上保安本部 | (那覇) | 電話 098-867-0118 |



海の「もしも」は**118番**

JAPAN COAST GUARD



海の事故ゼロ

キャンペーン

安全が一番大事だて、
 みんな思ってる。
 なくそう。海の事故。

2013年度ミス日本「海の日」渡辺 由希

2013 7/16 ▶ 31

全国海難防止強調運動

海難への願い

全国海難防止強調運動

『海の事故ゼロキャンペーン』について

全国海難防止強調運動とは、全国各地で官民一体となって、海事関係者だけではなく広く国民に対し、海難防止思想を広める運動です。今年度からは、より親しみ易い運動とするためサブタイトル「海の事故ゼロキャンペーン」を用いて運動を行います。

平成25年度の重点事項は以下の2つです。

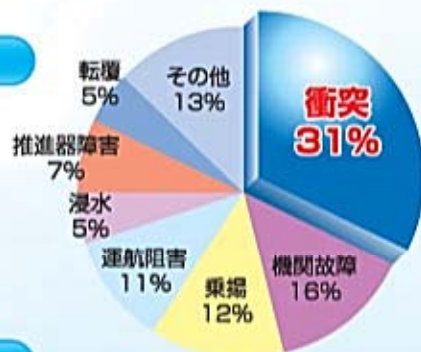
- ①見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
- ②小型船*の安全対策の徹底

*小型船:プレジャーボート、漁船、遊漁船

海難種類別発生状況 (平成20年～平成24年)

※山陰地方豪雪及び東日本大震災関連の海難を除く

船舶海難の中で**衝突海難**が最も多く、その原因の8割以上は「**見張り不十分**」と「**操船不適切**」です。



船舶種類別海難発生状況 (平成20年～平成24年)



海難の約7割は**プレジャーボート**と**漁船**によるものです。

※山陰地方豪雪及び東日本大震災関連の海難を除く

重点事項 1

見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進



衝突海難防止のポイント

- ①常時適切な見張りの徹底
航行中または漂流中に常時適切な見張りを徹底する。
- ②船舶間コミュニケーションの促進
次により、早期に船舶間の意思疎通を図り、相手船の動向を把握することで、適切な操船を行う。
 - 早めに相手船にわかりやすい動作をとる
 - VHFや汽笛信号等を活用する
 - AIS情報の活用と正しい情報の入力

重点事項 2

小型船の安全対策の徹底

小型船の安全対策のポイント

- ①発航前点検の徹底
- ②航行中のみならず操業・作業中も含めた見張りの徹底
- ③気象・海象情報の入手
- ④ライフジャケット着用等自己救命策の確保

燃料よし!
エンジンオイルよし!
バッテリー電圧よし!
冷却水よし!

発航前点検は
しっかりしなげや



自己救命策3つの基本は、
①ライフジャケットの着用
②連絡手段の確保
③緊急通報番号118番

